

平成 1 6 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	10	学校名	県立磯原高等学校				課程	全日制		学校長名	滑川正昭					
教頭名	金田正二								事務(室)長名	佐藤敏雄						
教職員数	教諭	32	養護教諭	1	常勤講師	10	非常勤講師	4	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	3	技術職員等	3	計	54
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	112	92	108	117	99	128			319	337	17				

2 目指す学校像

豊かな教養と理解力，健全公正な判断力，責任感を培い，社会の変化に主体的に対応できる能力を備え，誠実で自主性，創造性，社会性に富み，実践力のある心身ともに健やかな人間を育成する。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	家庭学習時間が平均30分と少なく，授業に対する集中力の足りない生徒がいる。	授業への興味付けと自学自習への取り組み
進路指導	進路決定率は約93%に達するが，未就職者が20名弱いる。	進路決定率100%の達成とインターンシップの充実
生徒指導	前年度までと比較して，挨拶面が不十分である。服装面は改善されつつあるが，まだ不十分である。	規範意識の高揚と人間関係の構築
特別活動	生徒主体による諸活動（生徒会・HR・学校行事）が不十分でない。	学校行事等における生徒の主体的な企画・運営

4 中期的目標

1	基礎的・基本的内容を重視した学習指導を充実させることにより、生徒一人一人の学力の向上を図るとともに、生徒が自ら学ぶ意欲の育成に努める。
2	進路指導の充実を図り、生涯にわたって充実した生活ができるよう個性の伸長に努める。
3	日常生活における生徒指導の充実を図り、豊かな人間性の育成や生徒の事故防止に努める。
4	部活動の一層の活性化を図り、体力と強い意志及び社会性の涵養に努める。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	生徒の学力・関心に応じた学習指導法の工夫 3年間を見通した進路指導の展開 基本的な生活習慣の確立を図る取り組み 部活動の活性化に全教員が当たるなど、特別活動の充実	全教科全教員による研究授業を実施するとともに、「年間学習指導計画」の改善により共通理解を図る。 進路別見学会等の進路関係行事を充実するとともに、「進路通信」を毎月1回発行して生徒の意識付けを強化する。 容姿指導の個人記録カード、「読書」（総合的な学習の時間）を通じて規範意識を高め、自己の在り方生き方を考える。 全昇会（部活動一体化の組織）を生徒が自主的に運営し、また、体育祭等の学校行事も生徒が中心となって運営する。	
2年次	基礎学力を高めるための対策 進路に対する早期の意識付け 自己と他者との尊重 部活動の活性化と未加入者のフォロー	「家庭学習アンケート」を実施・分析して、教科担当やHR担任の指導に活かす。 「卒業生講話会」、「進路報告会」等を実施して自覚を促すとともにインターシップの参加者を増やす。 相手の目を見て挨拶することの大切さを理解し実践するとともに、コミュニケーション能力の向上をめざす。 女子生徒の部加入率を上げ、未加入者には資格取得のための活動を促す。	
3年次	生徒の自学自習への取り組み 主体的な進路選択への支援 生き生きとした学校生活への支援 生徒の自主的な活動の伸長	類型ごとの到達目標を生徒に提示して、学習意欲の喚起につなげる。 進路関係のLHR（年3回）、各学年集会、HR担任との密度の濃い相談、インターネットを活用した相談等を行う。 全教員が生徒との関わりの回数を増やして生徒理解に努め、生徒からの小さなサインを見逃さない。 部活動、生徒会、資格取得のための活動を生徒が主体的に行い、放課後すぐに帰宅する生徒の数を皆無にする。	